

第67回福島県消防大会が開催されました

6月7日、郡山ユラックス熱海で「第67回福島県消防大会」が開催されました。本大会は、県内の消防人が一堂に会し、消防力の充実強化など当面する消防問題を協議するとともに、各種表彰を行って士気の高揚と団結をはかり、また活力ある消防体制を推進し、広く県民の消防意識の向上に資することを目的としています。
各種表彰者は以下のとおりです（敬称略）。



【福島県消防表彰】

永年勤続章 元部長 横山光安

【日本消防協会定例表彰】

精績章 分団長 栃本良重

勤続章 団員 山崎 定

【福島県消防協会定例表彰】

功績章 分団長 木幡一郎、分団長 江畑立行

精勤章 分団長 愛澤健次、団員 天野 昇、団員 松崎公隆

退職団員感謝状

分団長 志賀則道、部長 佐久間己彦、部長 岡本光則、団員 亀田 博、団員 原中幸弘

ゲートボールで町民同士の絆を深めました

6月26日、二本松市郭内の屋内ゲートボール場で「浪江町長杯ゲートボール大会」が開催されました。会場には笑顔と歓声があふれ、ゲートボールを通して町民同士の絆と交流が深められました。
結果は次のとおりです（敬称略）。



優勝

チーム名 カモメ

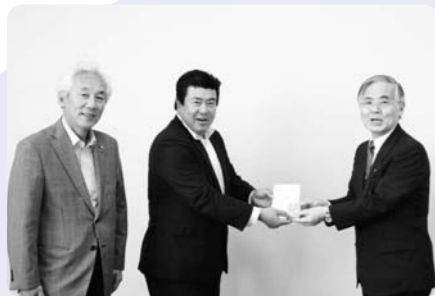
山本賢治、遠藤千恵子、愛沢 崇
愛沢延子、松本君男

準優勝

チーム名 サーモン

小山公明、古田チエ子、田中義丸
遠藤忠明

ありがとうございました



6月19日、東北学院大学様から、教育支援として図書カードを寄贈いただきました。図書カードは浪江小学校、津島小学校へ配布し、子どもたちの学習のために大切に使用させていただきます。



6月26日、自治労大阪市労働組合連合会様から、義捐金をいただきました。同市労連の皆さんは同日、本町以外にも福島県内の被災自治体へ義捐金を届けました。



6月27日、大阪府東大阪市の榊三容三宅加余子様から、義援金をいただきました。この義援金は、(株)三容様が本町から東大阪市へ避難している町民とお知り合いになったことがきっかけで、「浪江町の復興の一助になれば」というお気持ちからいただいたものです。

仮設住宅の町民の皆さんと交流しよう

浪江小学校・津島小学校の児童による「ふるさと浪江交流会（仮設訪問）」が、二本松市内で今年も実施されました。児童はみんなで一生懸命育てたプランターの花を仮設の皆さんに贈り、歌やおどり、紙芝居などを披露したほか、浪江町の思い出などをインタビュー形式で話し合いました。児童も入居されている町民の皆さんも、笑い声と笑顔がこぼれ、楽しく交流を深める機会となりました。



7月1日
大平農村広場
仮設

6月25日 安達運動場仮設



6月25日 塩沢農村広場仮設



皆さまの身の回りにおける楽しい話題、いっぴう変わった話題などの情報を募集しています。

復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731

語り継ぎます まち物語

6月29日、桑折町内の桑折駅前仮設住宅の集会所で「浪江まち物語つたえ隊」の結成式および紙芝居の上演会が行われました。震災後、浪江町の語り部の話を聞いた広島市の「まち物語製作委員会」の方が、浪江に伝わる昔話を紙芝居にして同仮設住宅で上演したのがきっかけで、この度、避難している浪江町と避難者を受け入れている桑折町・保原町の語り部の会の有志により「浪江まち物語つたえ隊」が結成されたものです。
浪江町の紙芝居『見えない雲の下で』（原作は町民の佐々木ヤス子さん）で震災当時のことが上演されると、多くの町民が涙を拭っていました。そのほか、「ポランデポひろしま」「まち物語製作委員会」のいくまさ鉄平さんによる、まちおこしの講演も行われました。



在日フランス人シェフらによる復興応援

6月22日、本宮市内の恵向仮設住宅で、ラ・キャラバン・ボン・アペティ（フランス人炊き出し隊：在日フランス人シェフらによるボランティア組織）主催による「フランス料理の夕べ」が開催されました。当日はあいにくの天気でしたが、会場には100人近くの人が集まり、本場のフランス料理を楽しみました（昨年は同市内の高木仮設で開催しました）。

